

大河津分水通水100周年 の取り組み



令和4年12月

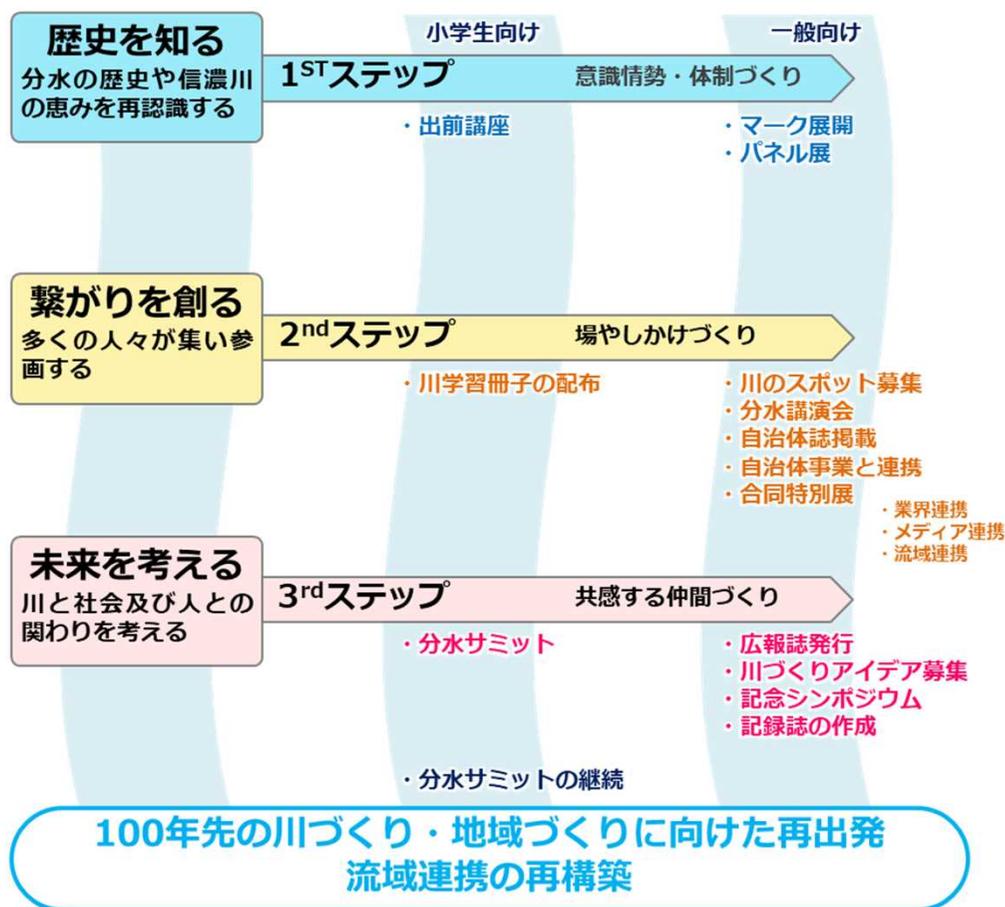
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所

大河津分水通水100周年、関屋分水通水50周年

- 2022年8月に大河津分水路が通水100周年を、関屋分水路が通水50周年を迎えた。
- 関係市町村長(新潟市長、長岡市長、三条市長、加茂市長、見附市長、燕市長、五泉市長、弥彦村長、田上町長)、新潟県、国交省からなる実行委員会を組織し、記念事業を実施。



大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年
記念事業実行委員会設立(2021年8月)



実行委員会で行う記念事業のイメージ

大河津分水通水100周年、関屋分水通水50周年



2月～6月 分水講演会

信濃川沿川の9自治体において、歴史、自然、防災、水辺の利活用など多彩なテーマで講演会を開催しました。

4月～ パネル展

信濃川沿川の9自治体において、かつての水害や分水の恩恵、リレー展やシンポジウム等のイベント情報を発信するパネル展を開催します。

5月 川学習冊子配布

信濃川を治水、利水、親水の3つの観点で紹介する小学生向け冊子を配布します。

5月～ メッセージプロジェクト

分水への感謝のメッセージを広く募集し、SNS等で発信するほか、記録動画として保存します。



メッセージプロジェクトイメージ

7月～ 信濃川沿川6館リレー展

信濃川・大河津分水・関屋分水をテーマに、燕市長善館史料館、燕市良寛史料館、新潟市歴史博物館みなとびあ、信濃川大河津資料館、長岡市立科学博物館、新潟県立歴史博物館の6館が特別展を開催します。スタンプラリーや講座なども予定しています。

7月 川のスポットマップ

公募によって地域の皆さんから寄せられた川のおススメスポットをまとめてマップを作成します。

7月 広報誌発行・自治体誌掲載

大河津分水や関屋分水で行われる8月のイベント情報を中心に紹介します。

8月25日 大河津分水の日

100年前の大河津分水通水を記念し、演奏会やメッセージ記入などのイベントを開催します。

8月27日 大河津分水サクスフェスタ

ステージイベント、露店、水辺の体験イベントを開催します。夜には花火の打ち上げも予定しています。

11月26日 分水サミット

9つの小学校から川の学習の成果発表と、未来の理想の川への想いを発表していただきます。

12月4日 記念シンポジウム

信濃川沿川自治体の首長から登壇いただき、これからの川づくりについて考えます。



1922年8月25日通水を喜ぶ人々

大河津分水通水100周年、関屋分水通水50周年(分水講演会)



- 実行委員会参加9市町村にて分水講演会を実施。
- 延べ531名の参加をいただいた。



第4回 4月2日(土)
テーマ: 大河津分水と桜と私
講師: 遠藤 麻理氏(燕市)



第2回 3月5日(土)
テーマ: 大河津分水と
彌彦神社
講師: 田邊 幹氏(弥彦村)



第6回 5月14日(土)
テーマ: 大河津分水を巡る
三条周辺の動き
講師: 羽賀 吉昭氏(三条市)



第9回 6月25日(土)
テーマ: 2つの分水と新潟の発展
講師: 伊東 祐之氏(新潟市)



第8回 6月4日(土)
テーマ: 川に学ぶ・ふるさつを知る
講師: 五十嵐 一浩氏(見附市)



第7回 5月22日(日)
テーマ: 激甚化する気象災害
に備えて
講師: 井田 寛子氏(五泉市)



第1回 2月5日(土)
テーマ: 中之島の先人達と
大河津分水の恩恵
講師: 高森 精二氏(長岡市)



第5回 4月23日(土)
テーマ: 大学生と地域の協働による
大河津分水の魅力発信
講師: 中島 純氏(加茂市)



第3回 3月27日(日)
テーマ: 田上町と信濃川の治水
講師: 樋口 勲氏(田上町)

大河津分水通水100歳の誕生日

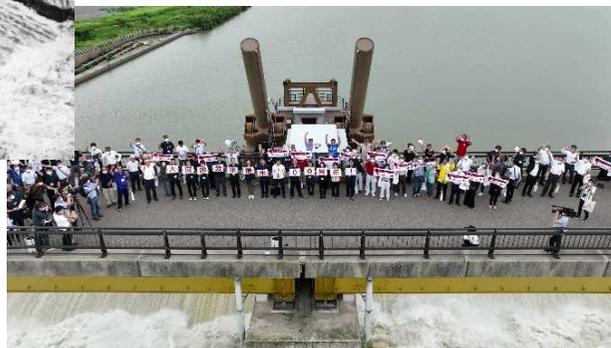


令和の大改修

■ 大河津分水通水100年目となる2022年(令和4年)8月25日に「OHKOUZUday～大河津分水路の日～」の記念イベントを開催。



1922年8月25日
大河津分水通水を祝う
工事関係者



2022年8月25日通水100年目を祝う関係者

大河津分水通水時に、工事関係者が堰の上で通水を祝った古事に倣い、通水100周年記念日に現可動堰をゲートオープンするセレモニーを実施。苦難の末通水した100年前の往時を偲びつつ関係者一同で記念撮影。



大河津分水路「令和の大改修」でも活躍している新技術やICT建設機械を使い、通水100周年を記念した「100」の文字を施工。これからの100年以降も工事の安全施工を願い、関係者一同で記念撮影。



～記念撮影～
分水小学校の児童と
大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年
記念事業実行委員会委員



燕市立分水小学校の児童で作成した灯籠の紹介
作成した灯籠を旧洗堰管理橋上で点灯

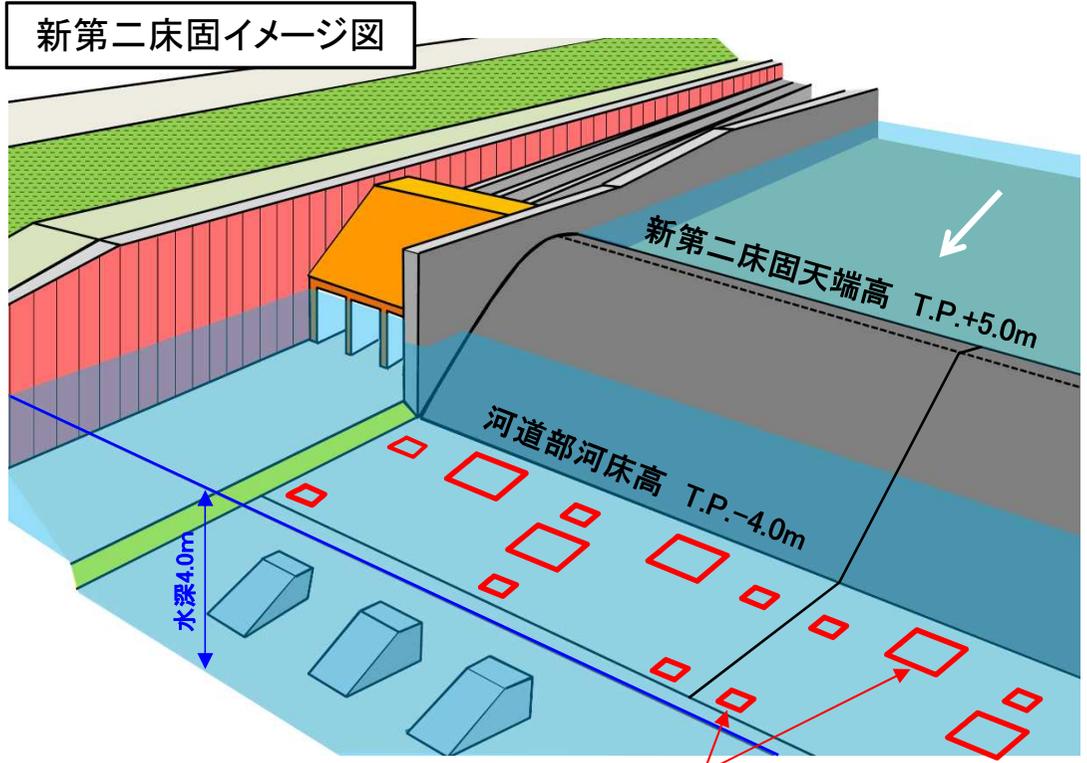
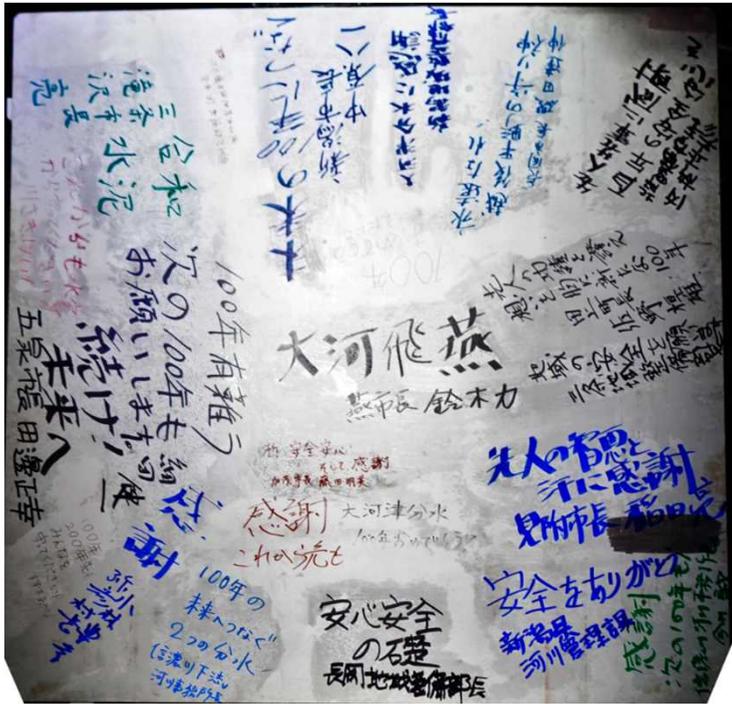


旧可動堰(写真手前)と可動堰(写真奥)の点灯



「新第二床固」の部材(摩耗対策プレート)に
実行委員が未来に向けたメッセージを記入

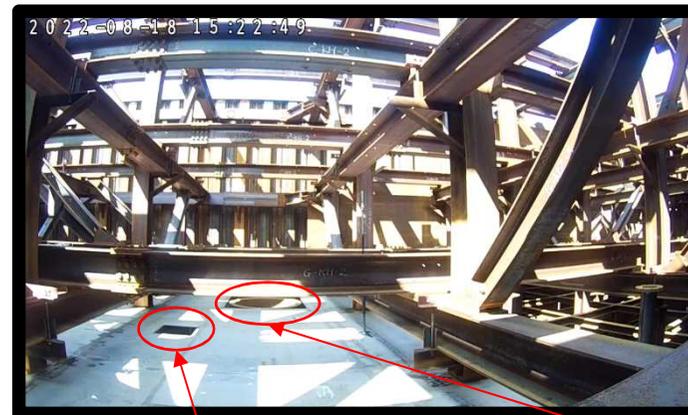
大河津分水周知効果（摩耗対策プレート）



摩耗対策範囲の開口部



新第二床固の部材（摩耗対策プレート）へ
未来に向けたメッセージ



摩耗対策範囲の開口部
(0.5m × 0.5m)

摩耗対策範囲の開口部
(1.5m × 1.5m)

・工事の途中は「摩耗対策プレート」の一部を外して、人や機械の出入り口とし、コンクリートを投入する作業等を行う。
・未来に向けたメッセージ入りの「摩耗対策プレート」は、これらの作業が終わったら、フタをする部品となる。

大河津分水周知効果（インフラツーリズムの推進）

- 全国で工事現場が観光資源になる「インフラツーリズム」への取り組みが広がっている。
- 信濃川河川事務所においても、大河津分水路改修事業工事現場、信濃川大河津資料館、可動堰等を公開・開放し、「インフラツーリズム」に積極的に取り組んでいる。
- 新潟県観光協会主催のNIIGATAプレミアムダイニングにて大河津分水改修事業とコラボしたプレミアムツアーを開催。

燕プレミアムダイニング

コース：燕三条駅 → 信濃川大河津資料館 → 大河津分水路改修工事現場 → 信濃川大河津資料館周辺 → 信濃川大河津資料館（ディナー） → 燕三条駅
概要：燕の文化を広く発信する団体TSUBAME×ACTIONS（ツバメクロスアクションズ）がプロデュースするこの日限りのプレミアムなツアー。
参加者は、大河津分水路改修事業工事現場見学の他、信濃川大河津資料館4Fの展望室にて、大河津分水の夜景や動画を見ながらディナーをお楽しみいただきました。



大河津分水路改修事業（第二床固改築）現場見学



信濃川大河津資料館4Fの展望室（当日の様子）



信濃川大河津資料館4Fの展望室（普段の様子）

プレミアム・キッチン

PREMIUM Kitchen
- 夜空を見上げる川辺の家 -

概要：信濃川大河津資料館や堰の操作室等を見学した後、可動堰の上で花火を見ながら地元食材による料理を堪能する特別な食事会を実施。
大河津分水の恵みである地元食材を使用した料理をお楽しみいただきました。



↑ 可動堰での食事

← 可動堰（当日の様子）



可動堰（普段の様子）

